

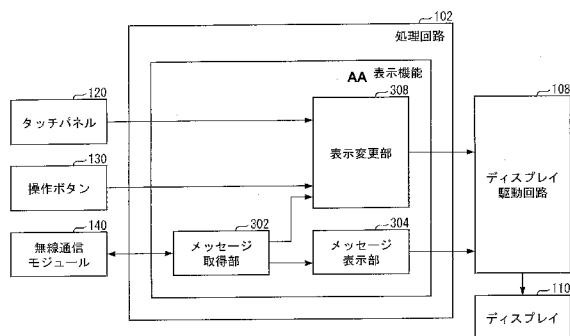


- (51) 国際特許分類 :
G06F 3/048 (2013.01) G06F 13/00 (2006.01)
- (21) 国際出願番号 : PCT/JP20 12/080742 (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, ML, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (22) 国際出願日 : 2012 年 11 月 28 日 (28.11.2012)
- (25) 国際出願の言語 : 日本語
- (26) 国際公開の言語 : 日本語
- (30) 優先権データ :
特願 201 1-269392 201 1 年 12 月 8 日 (08.12.201 1) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について):
シャープ株式会社 (SHARP KABUSHIKI KAISHA) [JP/JP]; 〒5458522 大阪府大阪市阿倍野区長池町 2 2 番 2 2 号 Osaka (JP).
- () 発明者 ; および
- () 出願人 (米国についてのみ): 豊島 啓記 (TOYOSHIMA, Hiroki) . 東 晃弘 (AZUMA, Akihiro) . 香川 宏紀 (KAGAWA, Hiroki). 笹岡 孝佳 (SASAKAWA, Takayoshi). 片山 三千太 (KATAYAMA, Michita).
- (74) 代理人 : 特許業務法人原謙三国際特許事務所 (HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK);
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

[続葉有]

(54) Title: DISPLAY DEVICE, INFORMATION TERMINAL DEVICE, DISPLAY METHOD, PROGRAM, AND RECORDING MEDIUM

(54) 発明の名称 : 表示装置、情報端末装置、表示方法、プログラム、および記録媒体



102 Processing circuit
108 Display-drive circuit
110 Display
120 Touch panel
130 Operation button
140 Wireless communication module
302 Message-acquisition unit
304 Message-display unit
308 Display-change unit
AA Display function

(57) Abstract: An information terminal device (100), provided with: a message-display unit (304) for displaying, lined up in the vertical direction on a display screen, a plurality of display regions for each time series, and for displaying the posts in the time series corresponding to each of the plurality of display regions; and a display-change unit (308) for sequentially changing, when movement operations are performed in the lateral direction on any one of the display regions among the plurality of display regions, the post displayed in the display region in question.

(57) 要約 : 情報端末装置 (100) は、時系列毎の複数の表示領域を、表示画面の縦方向に並べて表示するとともに、当該複数の表示領域の各々に対し、対応する時系列の前記投稿メッセージを表示するメッセージ表示部 (304) と、複数の表示領域のうちの、任意の一の表示領域に対する横方向への移動操作が行われた場合、当該一の表示領域に表示する投稿メッセージを、順次変更する表示変更部 (308) とを備える。



添付公開書類：

- 国際調査報告 (条約第 21 条 (3))

明 細 書

発 明 の 名 称 ：

表 示 装 置、情 報 端 末 装 置、表 示 方 法、プ ロ グ ラ ム、お よ び 記 録 媒 体

技 術 分 野

[0001] 本 発 明 は、メ ッ セ ー ジ 投 稿 サ イ ト の 投 稿 メ ッ セ ー ジ を 表 示 画 面 に 表 示 可 能 な 表 示 装 置 お よ び 情 報 端 末 装 置 に 関 す る。ま た、本 発 明 は、こ の よ う な 表 示 装 置 お よ び 情 報 端 末 装 置 に 用 い ら れ る 表 示 方 法、プ ロ グ ラ ム、お よ び 記 録 媒 体 に 関 す る。

背 景 技 術

[0002] 近 年、Ｓ Ｎ Ｓ（Ｓ ｏ ｃ ｉ ａ ｌ Ｎ ｅ ｔ ｗ ｏ ｒ ｋ Ｓ ｅ ｒ ｖ ｉ ｃ ｅ）の 利 用 が 急 速 に 高 ま っ て き て お り、中 で も、ネ ッ ト ワ ー ク の ユ ー ザ 同 士 の コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン サ ー ビ ス で あ る、い わ ゆ る メ ッ セ ー ジ 投 稿 サ イ ト が 多 く の ユ ー ザ に 利 用 さ れ て い る。

[0003] メ ッ セ ー ジ 投 稿 サ イ ト と は、各 ユ ー ザ が 任 意 の タ イ ミ ン グ で 端 末 装 置 か ら メ ッ セ ー ジ を 投 稿 し、各 端 末 装 置 に お い て は、各 ユ ー ザ か ら 投 稿 さ れ た メ ッ セ ー ジ（以 下、「投 稿 メ ッ セ ー ジ」と 示 す。）が 次 々 と リ ア ル タ イ ム に 表 示 さ れ て い く と い う も の で あ る。こ の よ う に メ ッ セ ー ジ 投 稿 サ イ ト に 対 し て メ ッ セ ー ジ を 投 稿 す る 行 為 は、「つ ぶ や き」と も 称 さ れ て い る。

[0004] 特 に 最 近 で は、個 人 の み な ら ず、企 業 や 団 体 等 も ア カ ウ ン ト を 取 得 し、情 報 発 信 ツ ー ル と し て メ ッ セ ー ジ 投 稿 サ イ ト を 利 用 す る よ う に な っ て き て い る。こ の よ う な メ ッ セ ー ジ 投 稿 サ イ ト の 代 表 的 な も の と し て は、「Ｔ ｗ ｉ t t e r」（登 録 商 標）が 挙 げ ら れ る（下 記 非 特 許 文 献 １ 参 照）。特 に、上 記「Ｔ ｗ ｉ t t e r」は、投 稿 メ ッ セ ー ジ の 文 字 数 が 比 較 的 短 い 文 字 数 に 制 限 さ れ て い る こ と か ら、い わ ゆ る「短 文 投 稿 サ イ ト」に 分 類 す る こ と が で き る。

[0005] 一 般 的 に、メ ッ セ ー ジ 投 稿 サ イ ト に 投 稿 さ れ て い る 各 投 稿 メ ッ セ ー ジ に は、そ の 投 稿 日 時 が 対 応 付 け ら れ て い る。こ れ に よ り、メ ッ セ ー ジ 投 稿 サ イ ト に 投 稿 さ れ て い る 複 数 の メ ッ セ ー ジ に よ っ て、そ の 時 系 列 が 構 成 さ れ て い る。そ し て、こ の 時 系 列 を 投 稿 サ イ ト か ら 取 得 し た 端 末 装 置 に お い て は、こ の

時系列に含まれている複数の投稿メッセージが、その投稿順に、表示画面の縦方向に並べて表示される（このような時系列を、上記「Twitter」では、「タイムライン」と呼んでいる）。そして、新たな投稿メッセージがメッセージ投稿サイトに投稿される毎に、上記時系列は更新され、この更新が端末装置においても即時に反映（すなわち、リアルタイム表示）されることとなる。

[0006] このとき、全ての投稿メッセージを表示画面に収めることができない場合は、一部の投稿メッセージ（例えば、最新のものから順にいくつかの投稿メッセージ）が表示されることとなるが、端末装置のユーザは、この時系列を縦方向にスクロールさせることにより、残りの投稿メッセージを順次表示画面に表示させて閲覧することができるようになっている。

[0007] 特に、最近では、電子書籍端末やスマートフォン等、タッチパネルを備えた情報端末装置が普及してきており、このような情報端末装置によれば、投稿メッセージの時系列が表示されている表示画面に対して、縦方向へのフリック操作を行うことにより、その時系列を構成している複数の投稿メッセージを、表示画面の縦方向にスクロールさせて、順次表示することができるようになっている。

先行技術文献

特許文献

[0008] 特許文献1：日本国公開特許公報 特開2006-145908号公報（2008年7月17日公開）

非特許文献

[0009] 非特許文献1：Twitter 社、「Twitter」、[online]. Twitter 社、[2011年11月30日検索]、インターネット<URL: <http://twitter.com/>>

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0010] ここで、上記「Twitter」では、特定のアカウント（1つのユーザアカウント

ト、複数のユーザアカウント、または複数のユーザアカウントを含むグループアカウント等。以下、これらをまとめて「特定アカウント」と示す。)を指定することにより、その特定アカウントの投稿メッセージのみを含む時系列を、表示することが可能となっている。また、上記「Twitter」では、特定アカウントを複数指定することにより、複数の特定アカウントの各々の時系列を表示することが可能となっている。

[001 1] 但し、上記「Twitter」では、複数の時系列を同時に表示することはできない。したがって、ユーザは、複数の時系列を閲覧したい場合は、時系列のリストを表示させて、そのリストの中から任意の時系列を選択する等、比較的手間がかかる切り替え操作を行うことにより、表示画面に表示する時系列を切り替える必要がある。

[001 2] ここで、従来、複数のコンテンツを表示画面に並べて表示し、全てのコンテンツが表示画面に収まりきらない場合であっても、表示画面をスクロールさせることにより、全てのコンテンツを閲覧可能とする技術が利用されている(例えば、上記特許文献1参照)。

[001 3] しかしながら、この技術では、スクロール操作が必要なコンテンツ(例えば、投稿メッセージの時系列)が、複数のコンテンツ内に含まれている場合は、コンテンツのスクロールの操作と、表示画面のスクロール操作とを、それぞれ区別して行う必要が生じる。このため、各スクロール操作が複雑なものになってしまう。そして、各スクロール操作を適切に行わないと、ユーザが意図しない操作が行われてしまうこととなる。例えば、コンテンツのスクロールの操作を行ったつもりが、表示画面のスクロール操作が行われてしまう場合があり、その反対の場合もある。

[0014] 本発明は、上記の問題に鑑みてなされたものであり、その目的は、簡単かつ確実な操作により、メッセージ投稿サイトの投稿メッセージの複数の時系列を閲覧することが可能な表示装置を提供することにある。

課題を解決するための手段

[001 5] 上記した課題を解決するため、本発明に係る表示装置は、メッセージ投稿

サイトの投稿メッセージを表示画面に表示可能な表示装置であって、前記投稿メッセージの時系列毎の複数の表示領域を、前記表示画面の第1の方向に並べて表示するとともに、当該複数の表示領域の各々に対し、対応する時系列の前記投稿メッセージを表示するメッセージ表示手段と、前記複数の表示領域のうちの、任意の一の表示領域に対する、前記第1の方向とは異なる方向である第2の方向への移動操作が行われた場合、当該一の表示領域に表示する投稿メッセージを、順次変更する表示変更手段とを備えることを特徴とする。

発明の効果

- [00 16] 本発明に係る表示装置、表示装置、情報端末装置、表示方法、プログラム、および記録媒体によれば、簡単かつ確実な操作により、メッセージ投稿サイトの投稿メッセージの複数の時系列を閲覧することが可能な表示装置を提供することができる。

図面の簡単な説明

- [00 17] [図1] 実施形態に係る情報端末装置の外観を示す図である。
- [図2] 実施形態に係る情報端末装置の構成を示すブロック図である。
- [図3] 実施形態に係る情報端末装置が備える表示制御機能の構成を示すブロック図である。
- [図4] 実施形態に係る情報端末装置による表示処理の手順を示すフローチャートである。
- [図5] 実施形態に係る情報端末装置による表示処理の具体例を示す図であって、メッセージ表示部による複数の表示領域の表示例を示す図である。
- [図6] 実施形態に係る情報端末装置による表示処理の具体例を示す図であって、横方向へのフリック操作の一例を示す図である。
- [図7] 実施形態に係る情報端末装置による表示処理の具体例を示す図であって、表示変更部による表示画面の表示内容の変更例を示す図である。
- [図8] 実施形態に係る情報端末装置による表示処理の具体例を示す図であって、縦方向へのフリック操作の一例を示す図である。

[図9]実施形態に係る情報端末装置による表示処理の具体例を示す図であって、表示変更部による表示画面の表示内容の変更例を示す図である。

[図10]実施形態に係る情報端末装置による表示処理の具体例を示す図であって、表示変更部による表示画面の表示内容の変更例を示す図である。

[図11]実施形態に係る情報端末装置による表示処理の具体例を示す図であって、横方向へのフリック操作の一例を示す図である。

発明を実施するための形態

[0018] 以下、本発明の実施形態について、図面を用いて説明する。

[0019] 実施形態)

(情報端末装置100の概要)

まず、本発明に係る実施形態について説明する。はじめに、図1を参照して、実施形態に係る情報端末装置100の概要について説明する。図1は、実施形態に係る情報端末装置100の外観を示す図である。

[0020] 図1に示す情報端末装置100は、各種サービスや各種アプリケーションを利用することが可能な、携帯性および可搬性を有する情報端末装置である。具体的には、情報端末装置100は、比較的小型であり、かつリチウムイオン二次電池等のバッテリーを内蔵している。このため、情報端末装置100は、持ち運びが容易なうえに、外部電源(AC電源)の供給を受けなくとも、バッテリー駆動により、外出先等での使用が可能となっている。

[0021] 情報端末装置100は、各種情報を表示するディスプレイ110を備えている。また、情報端末装置100は、各種操作のためのタッチパネル120および操作ボタン130を備えている。タッチパネル120は、ディスプレイ110の表面上に重ねて設けられている。

[0022] これにより、情報端末装置100は、ある表示対象のディスプレイ110における表示位置と、その表示対象に対するタッチパネル120における操作位置とを概ね一致させ、その表示対象に対する直感的な操作(選択操作や移動操作等)をユーザに行わせることが可能となっている。

[0023] タッチパネル120による可能な操作には、いわゆるフリック操作が含ま

れている。このフリック操作とは、指先をタッチパネル 120 に接触させたまま、その接触位置を任意の方向にスライド移動させる操作のことである。情報端末装置 100 は、フリック操作が行われた場合、その接触位置や、その移動方向、その移動速度等に応じて、表示対象の表示位置をスクロールさせたり、表示内容を切り替えたりすることが可能となっている。

[0024] 情報端末装置 100 は、無線通信モジュール 140（図 2 参照）をさらに備えている。これにより、情報端末装置 100 は、インターネットにアクセスして、インターネット上の各種サービスを利用することが可能となっている。

[0025] 情報端末装置 100 には、各種アプリケーションがインストールされている。例えば、情報端末装置 100 には、電子書籍を閲覧するためのアプリケーションがインストールされている。これにより、情報端末装置 100 は、書籍データをディスプレイ 110 に表示して、この書籍データをユーザに閲覧させることができる。ユーザは、書籍データを閲覧する際、タッチパネル 120 または操作ボタン 130 により、ページめくり等の各種操作を行うことができる。

[0026] また、情報端末装置 100 には、インターネット上の電子書籍サイトから電子書籍を購入するためのアプリケーションがインストールされている。これにより、ユーザは、この情報端末装置 100 によって、電子書籍サイトから所望の書籍データを購入し、購入した書籍データをダウンロードすることが可能となっている。

[0027] また、情報端末装置 100 には、インターネット上のメッセージ投稿サイトを利用するためのアプリケーションがインストールされている。これにより、ユーザは、この情報端末装置 100 によって、メッセージ投稿サイトに対してメッセージを投稿したり、メッセージ投稿サイトに投稿された投稿メッセージを閲覧したりすることができる。

[0028] なお、情報端末装置 100 によって電子書籍やメッセージ投稿サイトを利用する方法としては、上記した専用のアプリケーションによるものに限らず

、例えば、インターネット上の特定のWEBサイトにアクセスし、これによってWEBブラウザで表示されるWEBページから電子書籍やメッセージ投稿サイトを利用することも可能である。

[0029] (情報端末装置 100 の構成)

次に、図2を参照して、実施形態に係る情報端末装置 100 の構成について説明する。図2は、実施形態に係る情報端末装置 100 の構成を示すブロック図である。

[0030] 図2に示すように、情報端末装置 100 は、処理回路 102、記憶装置 104、タッチパネル 120、操作ボタン 130、ディスプレイ駆動回路 108、ディスプレイ 110、および無線通信モジュール 140 を備えている。

[0031] (記憶装置 104)

記憶装置 104 は、OS (Operating System) プログラムや、各種アプリケーションプログラム、各種制御プログラム、各種データ等を記憶する。例えば、記憶装置 104 には、電子書籍を閲覧するためのアプリケーションプログラム、電子書籍を購入するためのアプリケーションプログラム、メッセージ投稿サイトを利用するためのアプリケーションプログラム等が記憶されている。また、記憶装置 104 には、電子書籍サイトから購入した書籍データ等が記憶されている。

[0032] ここでいう記憶装置 104 には、HDD (Hard disk drive)、SSD (Solid State Drive) 等、情報端末装置 100 に内蔵されているものに限らず、メモリカード等の着脱可能なものを含む。

[0033] (処理回路 102)

処理回路 102 は、CPU等のプロセッサや、ROM (Read Only Memory)、RAM (Random Access Memory) 等のメモリを備えて構成されており、メモリおよび記憶装置 104 に記憶されているプログラムをプロセッサが実行することにより、各種アプリケーションを実行したり、情報端末装置 100 の各部を制御したりする。

[0034] (タッチパネル 120 および操作ボタン 130)

タッチパネル 120 および操作ボタン 130 は、ユーザが、情報端末装置 100 に対する各種操作を行うための、いわゆる入力デバイスである。タッチパネル 120 は、ディスプレイ 110 が備える表示パネルの表面上に重ねて設けられている。操作ボタン 130 は、情報端末装置 100 の本体の表面に設けられている。入力デバイスとしては、これらの他にも、キー、マウス等が採用され得る。

[0035] (ディスプレイ駆動回路 108 およびディスプレイ 110)

ディスプレイ駆動回路 108 は、処理回路 102 から供給された映像信号に応じてディスプレイ 110 を駆動する。ディスプレイ 110 は、処理回路 102 によって実行されたプログラムの実行結果に応じた映像を表示する。これにより、ディスプレイ 110 は、書籍データや投稿メッセージ等を表示する表示手段として機能する。本実施形態の情報端末装置 100 は、ディスプレイ 110 として、液晶ディスプレイを採用しているが、これ以外にも、有機 EL ディスプレイ等が採用され得る。

[0036] (無線通信モジュール 140)

無線通信モジュール 140 は、LAN やインターネット等の通信ネットワークへの無線アクセスを制御する。例えば、情報端末装置 100 は、無線通信によってインターネットに接続することにより、インターネット上のサーバや他の端末装置とのデータ通信を行うことができる。その際、インターネットへのアクセスは、無線通信モジュール 140 によって制御されることとなる。

[0037] (表示機能)

以下、本実施形態の情報端末装置 100 が備える表示機能について具体的に説明する。ここでいう表示機能とは、メッセージ投稿サイトから取得した投稿メッセージの表示に関する表示機能を意味する。

[0038] まず、図 3 を参照して、情報端末装置 100 が備える表示機能の構成について説明する。図 3 は、実施形態に係る情報端末装置 100 が備える表示制御機能の構成を示すブロック図である。

[0039] 図 3 に示すように、情報端末装置 100 の処理回路 102 は、投稿メッセージの表示に関する表示機能として、メッセージ取得部 302、メッセージ表示部 304、および表示変更部 308 を有している。

[0040] (メッセージ取得部)

メッセージ取得部 302 は、インターネット上の投稿サイト (具体的には、投稿サイト用のサーバ装置) から、無線通信モジュール 140 を介して、投稿メッセージを取得する。

[0041] メッセージ取得部 302 は、特定アカウントの投稿メッセージのみを含む、投稿メッセージの時系列 (以下、単に「時系列」と示す) を、メッセージ投稿サイトから取得することができる。

[0042] また、メッセージ取得部 302 は、複数の特定アカウントの各々の時系列を、メッセージ投稿サイトから取得することができる。

[0043] この場合、複数の特定アカウントが、複数の投稿サイトに亘るものであれば、メッセージ取得部 302 は、複数の投稿サイトの各々から、対応する特定アカウントの時系列を取得する。

[0044] ユーザは、特定アカウントを、情報端末装置 100 から任意に設定することができる。例えば、ユーザは、投稿サイト等の各種インターネットサイトを通じて知り得た、他のユーザ、企業、団体、またはサービス等のアカウントを、特定アカウントとして設定することができる。これにより、メッセージ取得部 302 は、上記他のユーザ、企業、団体、またはサービス等の時系列を取得することができ、この結果、ユーザは、興味のある他のユーザ、企業、団体、またはサービス等から発せられた情報を、リアルタイムかつ容易に閲覧することができる。

[0045] また、特定アカウントは、情報端末装置 100 が利用するアプリケーションから自動的に設定される場合もある。例えば、情報端末装置 100 は、複数のサービスに関する情報を配信する情報提供サイト等を利用することにより、上記複数のサービスの各々のアカウントを取得することができる。これにより、メッセージ取得部 302 は、上記複数のサービスの各々の時系列を

取得することができ、この結果、ユーザは、上記複数のサービスの各々から発せられた情報をリアルタイムかつ容易に閲覧することができる。

[0046] (メッセージ表示部)

メッセージ表示部 304 は、投稿メッセージ取得部 302 によって取得された投稿メッセージをディスプレイ 110 に表示する。投稿メッセージの表示は、情報端末装置 100 にインストールされている専用のアプリケーションによって実現されてもよく、WEB ブラウザで表示されるWEB ページによって実現されてもよい。メッセージ表示部 304 による投稿メッセージの表示方法は、以下のとおりである。

[0047] メッセージ表示部 304 は、ディスプレイ 110 の表示画面に対し、複数の特定アカウントの各々の時系列を同時に表示する。具体的には、ディスプレイ 110 の表示画面に対して、時系列毎の (すなわち、1 アカウント1 表示領域とする) 複数の表示領域を縦方向に並べて表示する。例えば、メッセージ取得部 302 によって3 つの時系列が取得された場合は、3 つの表示領域を縦方向に並べて表示するといった具合である。

[0048] そして、メッセージ表示部 304 は、複数の表示領域の各々に対し、対応する時系列の投稿メッセージを1 件ずつ表示する。デフォルトでは最新の投稿メッセージを1 件ずつ表示することとするが、これに限らない。これにより、ディスプレイ 110 の表示画面には、複数の時系列の各々の投稿メッセージが、1 件ずつ同時に表示されることとなる。

[0049] このように、本実施形態の情報端末装置 100 は、複数のアカウントの各々の時系列を同時に表示し、かつ各々の最新の投稿メッセージを表示するため、ユーザは、複数のアカウントの各々の最新の情報を容易に閲覧することが可能となる。

[0050] ここで、表示対象とされた全ての表示領域が表示画面に収まらない場合、メッセージ表示部 304 は、一部の表示領域を表示画面に表示する。

[0051] 基本的に、各表示領域のサイズは、固定であるが、メッセージ表示部 304 は、その表示領域内に表示される投稿メッセージの情報量 (具体的にはそ

の表示に要する表示面積)に応じて、各表示領域のサイズを変更することもできる。例えば、メッセージ表示部304は、各表示領域の横方向のサイズを固定したまま、各表示領域の縦方向のサイズを変更することもできる。

[0052] 各表示領域のサイズを固定とした場合、メッセージ表示部304は、投稿メッセージの一部をその表示領域内に表示してもよく、投稿メッセージを縮小して、その表示領域内に表示してもよい。

[0053] なお、投稿メッセージには、画像データや音声データ等のテキストデータ以外のデータが含まれている場合がある。メッセージ表示部304は、テキストデータ以外のデータ(または、そのリンク)を表示領域内に表示することもできる。

[0054] (表示変更部)

表示変更部308は、表示画面に投稿メッセージが表示されている場合において、タッチパネル120または操作ボタン130による何らかの操作が行われた場合、その操作内容に応じて、表示画面の表示内容を変更する。表示変更部308による上記表示内容の変更方法には、以下(1)~(4)を含んでいる。

[0055] (1) 複数の表示領域が表示画面に表示されているときに、当該複数の表示領域のうちの、任意の一の表示領域に対する横方向へのフリック操作が行われた場合、他の表示領域の表示内容を変更することなく、当該一の表示領域に表示する投稿メッセージを、その投稿順に基づいて、順次変更する。

[0056] 例えば、一の表示領域に対する左方向へのフリック操作が行われた場合、当該表示領域に表示する投稿メッセージを、現在表示されている投稿メッセージよりも、投稿日時が新しい他の投稿メッセージに変更する。

[0057] 反対に、一の表示領域に対する右方向へのフリック操作が行われた場合、当該表示領域に表示する投稿メッセージを、現在表示されている投稿メッセージよりも、投稿日時が古い他の投稿メッセージに変更する。

[0058] (2) 複数の表示領域のうちの一部の表示領域が表示画面に表示されているとき(すなわち、全ての表示領域を表示画面に表示しきれなかった場合)

に、表示画面に対する縦方向へのフリック操作が行われた場合、複数の表示領域の表示位置を縦方向にスクロールすることにより、表示画面に表示する表示領域を順次変更する。

[0059] 例えば、上方向へのフリック操作が行われた場合、上記一部の表示領域を上方向にスクロールさせ、これにより、表示画面の下方に生じた空きスペースに、上記一部の表示領域よりも表示順序が後の、他の表示領域を表示する。

[0060] 反対に、下方向へのフリック操作が行われた場合、上記一部の表示領域を下方向にスクロールさせ、これにより、表示画面の上方に生じた空きスペースに、上記一部の表示領域よりも表示順序が前の、他の表示領域を表示する。

[0061] (3) 複数の表示領域が表示画面に表示されているときに、当該複数の表示領域のうちの、任意の一の表示領域に対する所定の選択操作が行われた場合、当該一の表示領域に対応する一の時系列の複数の投稿メッセージを、その投稿順に縦方向に並べて表示画面に表示する。

[0062] (4) 上記 (3) により、一の時系列の複数の投稿メッセージのうちの一部の投稿メッセージが表示画面に表示されているとき (すなわち、全ての投稿メッセージを表示画面に表示しきれなかった場合) に、表示画面に対する縦方向へのフリック操作が行われた場合、複数の投稿メッセージの表示位置を縦方向にスクロールすることにより、表示画面に表示する投稿メッセージを順次変更する。

[0063] 例えば、上方向へのフリック操作が行われた場合、上記一部の投稿メッセージを上方向にスクロールさせ、これにより、表示画面の下方に生じた空きスペースに、上記一部の投稿メッセージよりも投稿順序が後の、他の投稿メッセージを表示する。

[0064] 反対に、下方向へのフリック操作が行われた場合、上記一部の投稿メッセージを下方向にスクロールさせ、これにより、表示画面の上方に生じた空きスペースに、上記一部の投稿メッセージよりも投稿順序が前の、他の投稿メ

ッセージを表示する。

[0065] (表示処理の手順)

次に、図4を参照して、実施形態に係る情報端末装置100による表示処理の手順について説明する。図4は、実施形態に係る情報端末装置100による表示処理の手順を示すフローチャートである。

[0066] (メッセージ表示)

まず、メッセージ取得部302が、複数の時系列の各々の投稿メッセージを、メッセージ投稿サイトから取得する(ステップ402)。

[0067] 次に、メッセージ表示部304が、ディスプレイ110の表示画面に対して、時系列毎の複数の表示領域を縦方向に並べて表示する(ステップ404)。

[0068] そして、メッセージ表示部304が、複数の表示領域の各々に対し、対応する時系列の投稿メッセージを1件ずつ表示する(ステップ406)。

[0069] (メッセージ表示変更)

その後、タッチパネル120または操作ボタン130による何らかの操作が行われると(ステップS408)、表示変更部308は、その操作内容に応じて、表示画面の表示内容を変更する(ステップS410〜ステップS420)。

[0070] 例えば、表示画面に表示されている複数の表示領域のうちの、任意の一の表示領域に対する横方向へのフリック操作が行われた場合(ステップS410:Yes)、表示変更部308は、当該一の表示領域に表示する投稿メッセージを、他の投稿メッセージに変更する(ステップS412)。その後、情報端末装置100は、処理をステップS408へ戻す。

[0071] また、表示画面に表示されている複数の表示領域に対する縦方向へのフリック操作が行われた場合(ステップS414:Yes)、表示変更部308は、各表示領域を縦方向にスクロールさせるとともに(ステップS416)、他の表示領域を表示画面に表示する(ステップS418)。その後、情報端末装置100は、処理をステップS408へ戻す。

[0072] また、表示画面に表示されている複数の表示領域のうちの、任意の一の表示領域に対する所定の選択操作が行われた場合（ステップS420）、表示変更部308は、当該一の表示領域に対応する時系列の複数の投稿メッセージを、その投稿順に縦方向に並べて表示画面に表示する（ステップS422）。

[0073] その後、さらに、表示画面に表示されている複数の投稿メッセージに対する縦方向へのフリック操作が行われた場合（ステップS424：Yes）、表示変更部308は、各投稿メッセージを縦方向にスクロールさせるとともに（ステップS426）、他の投稿メッセージを表示画面に表示する（ステップS428）。その後、情報端末装置100は、処理をステップS424へ戻す。

[0074] （表示処理の具体例）

次に、図5～図10を参照して、情報端末装置100による表示処理の具体例について説明する。

[0075] （初期表示）

図5は、実施形態に係る情報端末装置100による表示処理の具体例を示す図であって、メッセージ表示部304による複数の表示領域の表示例を示す図である。

[0076] 図5に示す例では、ディスプレイ110の表示画面には、表示領域502、表示領域504、および表示領域506が、縦方向に並べて表示されている。

[0077] 表示領域502は、アプリケーション「Aアプリ」に割り当てられたアカウントの時系列を表示するためのものである。表示領域504は、アプリケーション「Bアプリ」に割り当てられたアカウントの時系列を表示するためのものである。表示領域506は、アプリケーション「Cアプリ」に割り当てられたアカウントの時系列を表示するためのものである。

[0078] 図5以降では、各表示領域に対して、対応するアプリケーションのタイトルを表示する例を示しているが、特定のメッセージ投稿サービスの特定のア

カウントに関する情報であれば、どのような情報を表示してもよい。例えば、アプリケーションのタイトルに代えてまたは加えて、メッセージの投稿サービスの名称、アカウントの名称、このアカウントを使用するサービス名、このアカウントを使用する会社名等を表示してもよい。

[0079] 各表示領域には、対応するアプリケーションのタイトル (図中 a を付与) およびプロフィール画像 (図中 b を付与) と、対応するアカウントの時系列のうちの最新の 1 件の投稿メッセージ (図中 c を付与) とが表示されている。さらに、各表示領域には、「」ボタン (図中 d を付与)、 ボタン (図中 e を付与)、および「もっと見る」ボタン (図中 f を付与) が表示されている。

[0080] 例えば、上記表示画面は、ある情報配信サービスを利用したときに、表示されるものであり、上記各アカウントは、この情報配信サービスの利用時に、このサービスの提供元から一括して取得されるものである。

[0081] ここでいう情報配信サービスは、情報端末装置 100 にインストールされている専用のアプリケーションによって実現されるものであってもよく、WEB ブラウザで表示される WEB ページによって実現されるものであってもよい。

[0082] 図 5 では、各表示領域のサイズを等しくしているが、各表示領域のサイズが異なってもよい。例えば、各表示領域のサイズ (特に、縦方向のサイズ) は、その表示領域に表示される投稿メッセージの情報量に応じて、自動的に調整されるものであってもよい。

[0083] この場合、各表示領域のサイズは、投稿メッセージに含まれる全ての情報が表示されるように調整されてもよい。また、各表示領域のサイズは、予め定められた閾値を超えないように制限されてもよい。

[0084] また、各表示領域のサイズは、ユーザ操作によって変更可能であってもよい。例えば、当初は、表示領域のサイズを比較的小さくすることにより、投稿メッセージの一部の情報 (例えば、10 行分) を表示しておき、ユーザがその表示領域に対する拡大操作を行った場合、その表示領域のサイズを拡大

することにより、投稿メッセージの全ての情報を表示してもよい。

[0085] なお、このように複数の時系列が表示されているときに、少なくとも一つの時系列に対して新たなメッセージが投稿され、その時系列が更新される場合がある。情報端末装置 100 は、この時系列の更新を、直ちに反映してもよく、直ちに反映せずに、所定の更新条件（例えば、所定の更新ボタンが押下されたとき、改めて図 5 に示すような表示を行ったとき、図 10 に示すような表示を行ったとき、等）を満たしたときに、反映するようにしてもよい。

[0086] （横方向へのフリック操作時）

図 6 および図 11 は、実施形態に係る情報端末装置 100 による表示処理の具体例を示す図であって、横方向へのフリック操作の一例を示す図である。図 7 は、実施形態に係る情報端末装置 100 による表示処理の具体例を示す図であって、表示変更部 308 による表示画面の表示内容の変更例を示す図である。

[0087] 既に説明したとおり、本実施形態の情報端末装置 100 は、表示画面に表示されている複数の表示領域のうちの、任意の一の表示領域に対する横方向へのフリック操作が行われた場合、当該一の表示領域に表示する投稿メッセージを、他の投稿メッセージに変更する。

[0088] 例えば、図 6 に示すように、図 5 に示した表示領域 502，504，506 のうちの、表示領域 504 に対する左方向へのフリック操作が行われた場合、情報端末装置 100 は、当該表示領域 504 に表示する投稿メッセージを、現在表示されている投稿メッセージよりも、投稿日時が新しい他の投稿メッセージに変更する。

[0089] これにより、図 7 に示すように、表示領域 504 には、上記新しい他の投稿メッセージが表示されるが、表示領域 502，506 は、いずれも上記フリック操作を行う前のままの状態であり、表示されている投稿メッセージに変更はない。

[0090] なお、図 6 に示す例では、表示領域に対する横フリック操作により、その

表示領域全体が横方向にスクロールすることにより、投稿メッセージが切り替わる例を示しているが、例えば、図 11 に示すように、横フリック操作により、単に投稿メッセージの内容が切り替わるだけであってもよい。

[0091] (縦方向へのフリック操作時)

図 8 は、実施形態に係る情報端末装置 100 による表示処理の具体例を示す図であって、縦方向へのフリック操作の一例を示す図である。図 9 は、実施形態に係る情報端末装置 100 による表示処理の具体例を示す図であって、表示変更部 308 による表示画面の表示内容の変更例を示す図である。

[0092] 既に説明したとおり、本実施形態の情報端末装置 100 は、表示画面に表示されている複数の表示領域に対する縦方向へのフリック操作が行われた場合、各表示領域を縦方向にスクロールさせるとともに、他の表示領域を表示画面に表示する。

[0093] 例えば、図 8 に示すように、図 7 に示した表示領域 502, 504, 506 に対する上方向へのフリック操作が行われた場合、情報端末装置 100 は、表示領域 502, 504, 506 を上方向にスクロールさせる。これにより、図 8 に示すように、表示領域 502 が表示画面の上方からスクロールアウトされると、代わりに、表示領域 508 が表示画面の下方からスクロールインされる。これにより、表示画面は、図 9 に示すように、表示領域 504, 506, 508 が表示された状態となる。

[0094] (所定の選択操作時)

図 10 は、実施形態に係る情報端末装置 100 による表示処理の具体例を示す図であって、表示変更部 308 による表示画面の表示内容の変更例を示す図である。

[0095] 既に説明したとおり、本実施形態の情報端末装置 100 は、表示画面に表示されている複数の表示領域のうちの、任意の一の表示領域に対する所定の選択操作が行われた場合、当該表示領域に対応する一の時系列の複数の投稿メッセージを、その投稿順に縦方向に並べて表示画面に表示する。本実施形態では、各表示領域に表示されている「もっと見る」ボタンを選択する操作

が、上記所定の選択操作として設定されている。

[0096] さらに、本実施形態の情報端末装置 100 は、一の時系列の複数の投稿メッセージが表示画面に表示されているときに、当該表示画面に対する縦方向へのフリック操作が行われた場合、当該複数の投稿メッセージを縦方向へスクロールさせることにより、当該表示画面に表示する投稿メッセージを順次変更する。

[0097] 例えば、図 9 に示した表示領域 504 に対して、「もっと見る」ボタンを選択する操作が行われた場合、情報端末装置 100 は、図 10 に示すように、当該表示領域 504 に対応する一の時系列（すなわち、アプリケーション「B アプリ」の投稿メッセージのみを含む時系列）の複数の投稿メッセージを、その投稿順に縦方向に並べて表示画面に表示する。

[0098] さらに、ディスプレイ 120 の表示画面に対して、上方向へのフリック操作が行われた場合、情報端末装置 100 は、アプリケーション「B アプリ」の複数の投稿メッセージを上方向へスクロールさせることにより、ディスプレイ 120 の表示画面に対して、アプリケーション「B アプリ」の新しい投稿メッセージを順次表示する。

[0099] 反対に、ディスプレイ 120 の表示画面に対して、下方向へのフリック操作が行われた場合、情報端末装置 100 は、アプリケーション「B アプリ」の複数の投稿メッセージを下方向へスクロールさせることにより、ディスプレイ 120 の表示画面に対して、アプリケーション「B アプリ」の古い投稿メッセージを順次表示する。

[0100] このように、本実施形態の情報端末装置 100 によれば、ユーザは、表示画面に表示された複数の表示領域によって、複数の時系列を同時に閲覧することができる。

[0101] 特に、ユーザは、任意の特定アカウントの投稿メッセージを順次閲覧したい場合には、その表示領域から視線を移動させることなく、その表示領域に対する横方向へのフリック操作という簡単かつ確実な操作を行うだけで、これを実現することができる。

[01 02] また、複数の時系列の全てが表示画面に収まりきらない場合であっても、ユーザは、表示画面に対する縦方向へのフリック操作という簡単かつ確実な操作により複数の時系列を順次閲覧することができる。

[01 03] 特に、特定アカウントの投稿メッセージを順次閲覧するためのフリック操作と、複数の時系列を順次閲覧するためのフリック操作とは、互いに操作方向が異なるため、ユーザは、直感的かつ確実にこれらの操作を実行することができる。

[01 04] また、ユーザは、特定の時系列の複数のメッセージを同時に閲覧したい場合には、その時系列の表示領域に対する所定の選択操作（「もっと見る」ボタンを選択する操作）を行うだけで、これを実現することができる。

[01 05] （変形例）

実施形態では、複数の時系列を並べて表示する方向（第 1 の方向）を縦方向とし、任意の時系列に対する投稿メッセージの表示切替操作の方向（第 2 の方向）を横方向とした。

[01 06] 本発明は、少なくとも、上記第 1 の方向と上記第 2 の方向とが互いに異なる方向であればよく（好適な例は、上記第 1 の方向と上記第 2 の方向とが互いに直交することである）、上記第 1 の方向および上記第 2 の方向を含む各表示方向や各操作方向を、実施形態と異ならせて実施することも可能である。

[01 07] 例えば、実施形態において、「縦方向」とした各表示方向および各操作方向を「横方向」に変更し、実施形態において、「横方向」とした各表示方向および各操作方向を「縦方向」に変更して、実施することも可能である。

[01 08] この場合、例えば、複数の時系列は、表示画面の横方向に並べて表示される。また、任意の時系列に対して投稿メッセージの表示を切り替える場合は、その表示領域に対する縦方向へのフリック操作により実現される。また、表示画面に表示される表示領域を切り替える場合は、表示画面に対する横方向へのフリック操作により実現される。

[01 09] （プログラム、記憶媒体）

実施形態で説明した情報端末装置 100 の各機能は、集積回路（ＩＣチップ）上に形成された論理回路によってハードウェア的に実現してもよいし、ＣＰＵ（Central Processing Unit）を用いてソフトウェア的に実現してもよい。

- [01 10] 例えば、情報端末装置 100 は、各機能を実現するプログラムの命令を実行するＣＰＵ、上記プログラムを格納したＲＯＭ、上記プログラムを展開するＲＡＭ、上記プログラム及び各種データを格納するメモリ等の各種記憶装置（記録媒体）を備えている。そして、上記ＣＰＵが、上記各種記憶装置に格納されているプログラムを読み出し、このプログラムを実行することによって、情報端末装置 100 の各機能を実現することができる。
- [01 11] 上記記録媒体としては、例えば、磁気テープやカセットテープ等のテープ類、フロッピー（登録商標）ディスク/ハードディスク等の磁気ディスクやＣＤ＿ＲＯＭ/ＭＯ/ＭＤ/ＤＶＤ/ＣＤ＿Ｒ等の光ディスクを含むディスク類、ＩＣカード（メモリカードを含む）/光カード等のカード類、マスクＲＯＭ/ＥＰＲＯＭ/ＥＥＰＲＯＭ（登録商標）/フラッシュＲＯＭ等の半導体メモリ類、あるいはＰＬＤ（Programmable Logic device）やＦＰＧＡ（Field Programmable Gate Array）等の論理回路類等を用いることができる。
- [01 12] なお、上記プログラムは、通信ネットワークを介して情報端末装置 100 に供給されてもよい。この通信ネットワークは、少なくとも上記プログラムを情報端末装置 100 に伝送可能であればよく、その種類はどのようなものであっても良い。例えば、通信ネットワークとしては、インターネット、イントラネット、エキストラネット、ＬＡＮ、ＩＳＤＮ、ＶＡＮ、ＣＡＴＶ通信網、仮想専用網（virtual Private Network）、電話回線網、移動体通信網、衛星通信網等が利用可能である。
- [01 13] また、上記プログラムを情報端末装置 100 に供給するための伝送媒体としても、どのような種類のものを利用しても良い。例えば、伝送媒体として、ＩＥＥＥ 1394、ＵＳＢ、電力線搬送、ケーブルＴＶ回線、電話線、ＡＤＳＬ（Asymmetric Digital Subscriber Line）回線等の有線によるものを

利用しても良い。また、伝送媒体として、I r D A やリモコンのような赤外線、B l u e t o o t h (登録商標)、I E E E 8 0 2 1 1 無線、H D R (High Data Rate)、N F C (Near Field Communication)、D L N A、携帯電話網、衛星回線、地上波デジタル網等の無線によるものを利用しても良い。

[01 14] (補足事項)

本発明は上述した各実施形態に限定されるものではなく、請求項に示した範囲で種々の変更が可能であり、また、異なる実施形態にそれぞれ開示された技術的手段を適宜組み合わせて得られる実施形態についても本発明の技術的範囲に含まれる。

[01 15] (本発明の適用対象)

実施形態では、本発明を情報端末装置に適用した例を説明した。本発明は、少なくともメッセージ投稿サイトの投稿メッセージを表示することができるものであれば、どのような装置にも適用することができる。例えば、携帯電話機、スマートフォン、P D A、パーソナルコンピュータ、カーナビゲーション装置、テレビジョン受像機等にも、本発明を適用することができる。

[01 16] (フリック操作について)

実施形態において、横方向への移動操作および縦方向への移動操作の一例として、横方向へのフリック操作および縦方向へのフリック操作を用いたが、情報端末装置 1 0 0 は、これらフリック操作の代わりに、これらフリック操作と同等の操作(ボタン操作等)が行われた場合にも、これらフリック操作が行われたときと同様に動作するように構成してもよい。

[01 17] 例えば、上下方向への操作(例えば、マウス、コントロールホイール、またはトラックボール等による上下方向の移動操作、上下ボタン(ハードウェア的なボタンおよびソフトウェア的なボタンを含む)の押下等)が行われた場合、縦方向へのフリック操作が行われたときと同様に動作するように構成してもよい。

[01 18] また、任意の表示領域を選択した後の左右方向への操作(例えば、マウス、コントロールホイール、またはトラックボール等による左右方向の移動操

作、左右ボタン（ハードウェア的なボタンおよびソフトウェア的なボタンを含む）の押下等）が行われた場合、その表示領域に対する横方向へのフリック操作が行われたときと同様に動作するように構成してもよい。

[0119] （投稿メッセージの表示単位について）

実施形態では、表示領域内における投稿メッセージの表示単位およびその表示の切り替え単位を１件毎としたが、２件以上毎であってもよい。

[0120] 〔まとめ〕

以上のように、本実施形態に係る表示装置（情報端末装置１００）は、メッセージ投稿サイトの投稿メッセージを表示画面に表示可能な表示装置であって、前記投稿メッセージの時系列毎の複数の表示領域を、前記表示画面の第１の方向に並べて表示するとともに、当該複数の表示領域の各々に対し、対応する時系列の前記投稿メッセージを表示するメッセージ表示手段（メッセージ表示部３０４）と、前記複数の表示領域のうちの、任意の一の表示領域に対する、前記第１の方向とは異なる方向である第２の方向への移動操作が行われた場合、当該一の表示領域に表示する投稿メッセージを、順次変更する表示変更手段（表示変更部３０８）とを備えることを特徴とする。

[0121] 本表示装置によれば、ユーザは、複数の時系列を、同一の表示画面上で閲覧することができる。特に、時系列毎に表示領域が設けられているので、時系列が区別されていることを明確に認識することが可能となっており、ユーザは、特定アカウントの投稿メッセージを順次閲覧する際には、その表示領域から視線を移動させることなく、これを実現することができる。

[0122] また、本表示装置によれば、特定アカウントの投稿メッセージの順次閲覧は、その表示領域に対する第２の方向への移動操作という簡単かつ確実な操作により実現される。特に、当該移動操作は、その方向である第２の方向（例えば、横方向）が、複数の表示領域が並んでいる方向である第１の方向（例えば、縦方向）と異なるうえ、他の表示領域の表示内容に影響を及ぼさないもので、直感的なものであるにも関わらず、より確実である。

[0123] また、本表示装置によれば、表示領域に対する第２の方向への移動操作は

、他の表示領域に影響を及ぼさないから、ある表示領域の投稿メッセージを表示させたまま、他の表示領域に任意の投稿メッセージを表示させ、両者を比較することもできる。

[0124] 上記表示装置において、前記メッセージ表示手段は、前記複数の表示領域の各々に対し、対応する時系列の前記投稿メッセージを１件ずつ表示し、前記表示変更手段は、前記複数の表示領域のうちの、任意の一の表示領域に対する前記第２の方向への移動操作が行われた場合、当該一の表示領域に表示する投稿メッセージを、１件ずつ順次変更することが好ましい。

[0125] この構成によれば、各表示領域には、１件ずつ投稿メッセージが表示されるので、各表示領域のサイズを最小限とすることができ、より多くの表示領域を表示画面に表示することができる。特に、複数のメッセージが第１の方向に並べて一の表示領域内に表示されていると、誤った第１の方向の移動操作（例えば、第１の方向への移動操作ではメッセージを切り替えることができないのに、メッセージを切り替えるつもりで第１の方向の移動操作を行ってしまう等）を誘発してしまうが、本表示装置では、一の表示領域内に１件ずつ投稿メッセージが表示されるので、このような誤った第１の方向の移動操作を誘発することもない。

[0126] 上記表示装置において、前記表示変更手段は、前記複数の表示領域が前記表示画面に表示されているときに、前記表示画面に対する前記第１の方向への移動操作が行われた場合、当該複数の表示領域の表示位置を前記第１の方向へ移動させることにより、前記表示画面に表示する表示領域を順次変更することが好ましい。

[0127] この構成によれば、特定アカウントの投稿メッセージを順次閲覧するための操作と、複数の時系列を順次閲覧するための操作とが、互いに操作方向が異なるため、ユーザは、直感的かつ確実にこれらの操作を実行することができる。

[0128] 特に、上記第１の方向の操作が、各表示領域の表示内容に影響を及ぼすことがないので、各表示領域に表示されている投稿メッセージを固定させたま

ま、複数の時系列を順次閲覧することができる。

[01 29] また、ユーザは、各表示領域に対する上記第 2 の方向への操作を行い、各表示領域に対して任意の投稿メッセージを表示させた状態で、上記第 1 の方向の操作を行うことにより、複数の時系列の任意の投稿メッセージ同士を容易に比較することもできる。

[01 30] 上記表示装置において、前記表示変更手段は、前記複数の表示領域のうちの、任意の一の表示領域に対する所定の選択操作が行われた場合、当該表示領域に対応する一の時系列の複数の投稿メッセージを、前記表示画面の前記第 1 の方向に並べて表示することが好ましい。

[01 31] この構成によれば、ユーザは、複数の時系列を同時に閲覧することができるだけでなく、上記所定の選択操作を行うことにより、任意の時系列のより多くの情報を容易に閲覧することができる。

[01 32] 上記表示装置において、前記表示変更手段は、前記一の時系列の複数の投稿メッセージが前記表示画面に表示されているときに、前記表示画面に対する前記第 1 の方向への移動操作が行われた場合、当該複数の投稿メッセージの表示位置を前記第 1 の方向へ移動させることにより、前記表示画面に表示する投稿メッセージを順次変更することが好ましい。

[01 33] この構成によれば、複数の投稿メッセージが並べられている方向と、その複数の投稿メッセージが移動する方向と、この移動のための移動操作の方向とが同方向であるため、ユーザは、直感的かつ確実な操作により、容易に、複数の投稿メッセージを閲覧することができる。

[01 34] また、本実施形態に係る情報端末装置は、上記表示装置を備えたことを特徴とする。

[01 35] 本情報端末装置によれば、上記表示装置と同様の効果を奏する情報端末装置を提供することができる。

[01 36] また、本実施形態に係る表示方法は、メッセージ投稿サイトの投稿メッセージを表示画面に表示する表示方法であって、前記投稿メッセージの時系列毎の複数の表示領域を、前記表示画面の第 1 の方向に並べて表示するととも

に、当該複数の表示領域の各々に対し、対応する時系列の前記投稿メッセージを表示するメッセージ表示工程と、前記複数の表示領域のうちの、任意の一の表示領域に対する、前記第 1 の方向とは異なる方向である第 2 の方向への移動操作が行われた場合、当該一の表示領域に表示する投稿メッセージを、順次変更する表示変更工程とを含むことを特徴とする。

[0137] 本表示方法によれば、当該表示方法を表示装置に実行させることにより、上記表示装置と同様の効果を奏する表示装置を提供することができる。

[0138] また、本実施形態に係るプログラムは、コンピュータを上記表示装置として機能させるためのプログラムであって、上記コンピュータを上記表示装置が備える上記各手段として機能させる。

[0139] 本プログラムによれば、当該プログラムをコンピュータに実行させることにより、上記表示装置と同様の効果を奏するコンピュータを提供することができる。

[0140] また、本実施形態に係る記録媒体は、上記プログラムを記録しているコンピュータ読み取り可能な記録媒体である。

[0141] 本記録媒体によれば、上記表示装置と同様の効果を奏することができる上記プログラムを当該記録媒体によりコンピュータに提供することができる。

産業上の利用可能性

[0142] 本発明は、情報端末装置、携帯電話機、スマートフォン、PDA、パーソナルコンピュータ等、メッセージ投稿サイトの投稿メッセージを表示することが可能な各種表示装置に適用することができる。

符号の説明

[0143] 100 情報端末装置 (表示装置)

102 処理回路

104 記憶装置

108 ディスプレイ駆動回路

110 ディスプレイ

120 タッチパネル

130 操作ボタン

140 無線通信モジュール

302 メッセージ取得部

304 メッセージ表示部 (メッセージ表示手段)

308 表示変更部 (表示変更手段)

請求の範囲

[請求項 1] メッセージ投稿サイトの投稿メッセージを表示画面に表示可能な表示装置であって、

前記投稿メッセージの時系列毎の複数の表示領域を、前記表示画面の第 1 の方向に並べて表示するとともに、当該複数の表示領域の各々に対し、対応する時系列の前記投稿メッセージを表示するメッセージ表示手段と、

前記複数の表示領域のうちの、任意の一の表示領域に対する、前記第 1 の方向とは異なる方向である第 2 の方向への移動操作が行われた場合、当該一の表示領域に表示する投稿メッセージを、順次変更する表示変更手段と

を備えることを特徴とする表示装置。

[請求項 2] 前記メッセージ表示手段は、

前記複数の表示領域の各々に対し、対応する時系列の前記投稿メッセージを 1 件ずつ表示し、

前記表示変更手段は、

前記複数の表示領域のうちの、任意の一の表示領域に対する前記第 2 の方向への移動操作が行われた場合、当該一の表示領域に表示する投稿メッセージを、1 件ずつ順次変更する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

[請求項 3] 前記表示変更手段は、

前記複数の表示領域が前記表示画面に表示されているときに、前記表示画面に対する前記第 1 の方向への移動操作が行われた場合、当該複数の表示領域の表示位置を前記第 1 の方向へ移動させることにより、前記表示画面に表示する表示領域を順次変更する

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の表示装置。

[請求項 4] 前記表示変更手段は、

前記複数の表示領域のうちの、任意の一の表示領域に対する所定の

選択操作が行われた場合、当該表示領域に対応する一の時系列の複数の投稿メッセージを、前記表示画面の前記第 1 の方向に並べて表示する

ことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の表示装置。

[請求項5]

前記表示変更手段は、

前記一の時系列の複数の投稿メッセージが前記表示画面に表示されているときに、前記表示画面に対する前記第 1 の方向への移動操作が行われた場合、当該複数の投稿メッセージの表示位置を前記第 1 の方向へ移動させることにより、前記表示画面に表示する投稿メッセージを順次変更する

ことを特徴とする請求項 4 に記載の表示装置。

[請求項6]

請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の表示装置を備えたことを特徴とする情報端末装置。

[請求項7]

メッセージ投稿サイトの投稿メッセージを表示画面に表示する表示方法であって、

前記投稿メッセージの時系列毎の複数の表示領域を、前記表示画面の第 1 の方向に並べて表示するとともに、当該複数の表示領域の各々に対し、対応する時系列の前記投稿メッセージを表示するメッセージ表示工程と、

前記複数の表示領域のうちの、任意の一の表示領域に対する、前記第 1 の方向とは異なる方向である第 2 の方向への移動操作が行われた場合、当該一の表示領域に表示する投稿メッセージを、順次変更する表示変更工程と

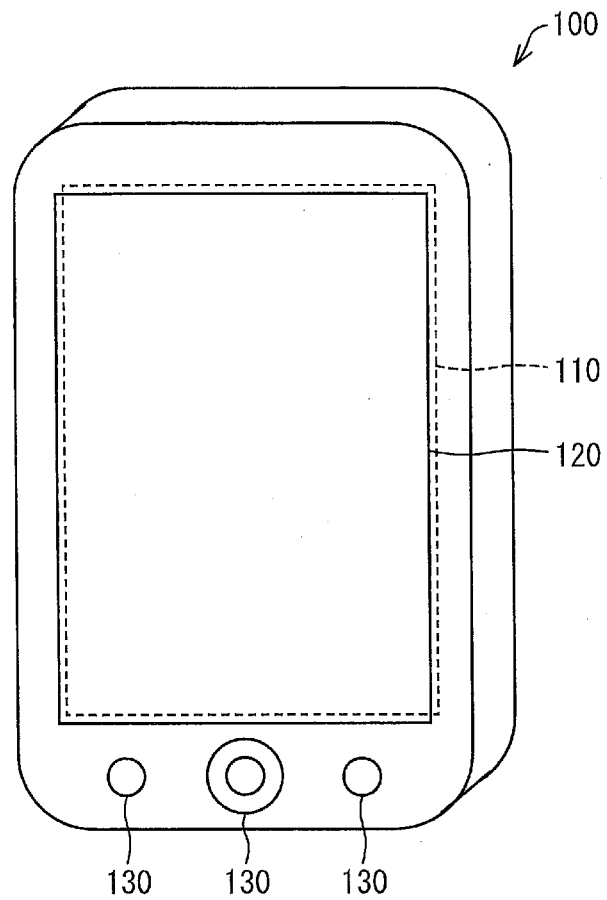
を含むことを特徴とする表示方法。

[請求項8]

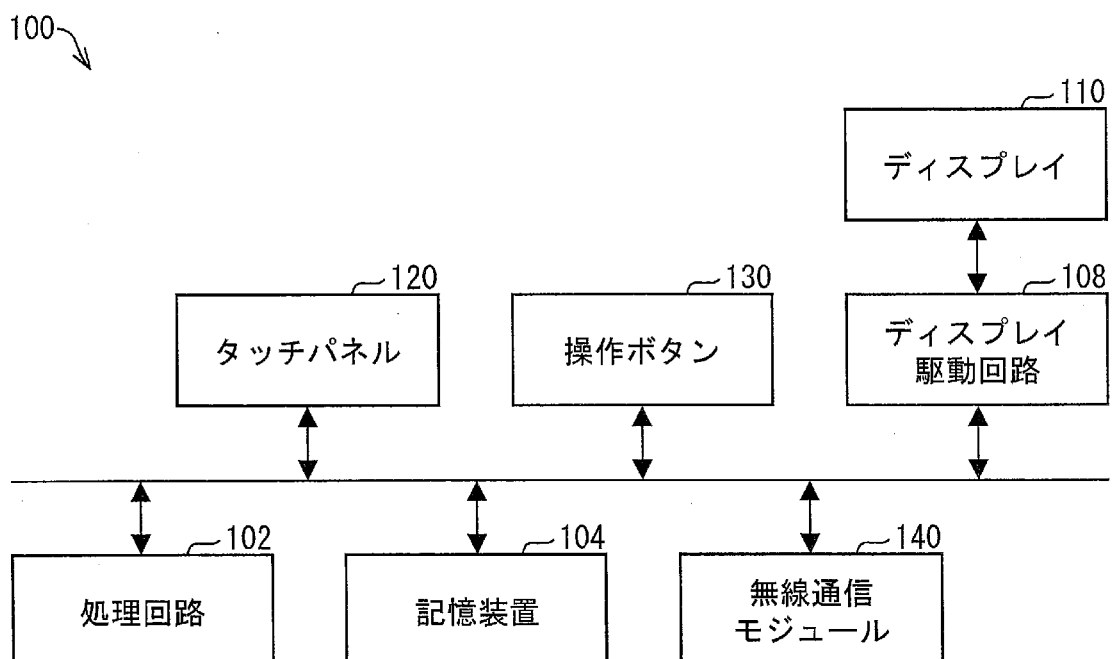
コンピュータを請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の表示装置として機能させるためのプログラムであって、前記コンピュータを前記表示装置が備える前記各手段として機能させるプログラム。

[請求項9] 請求項8に記載のプログラムを記録しているコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

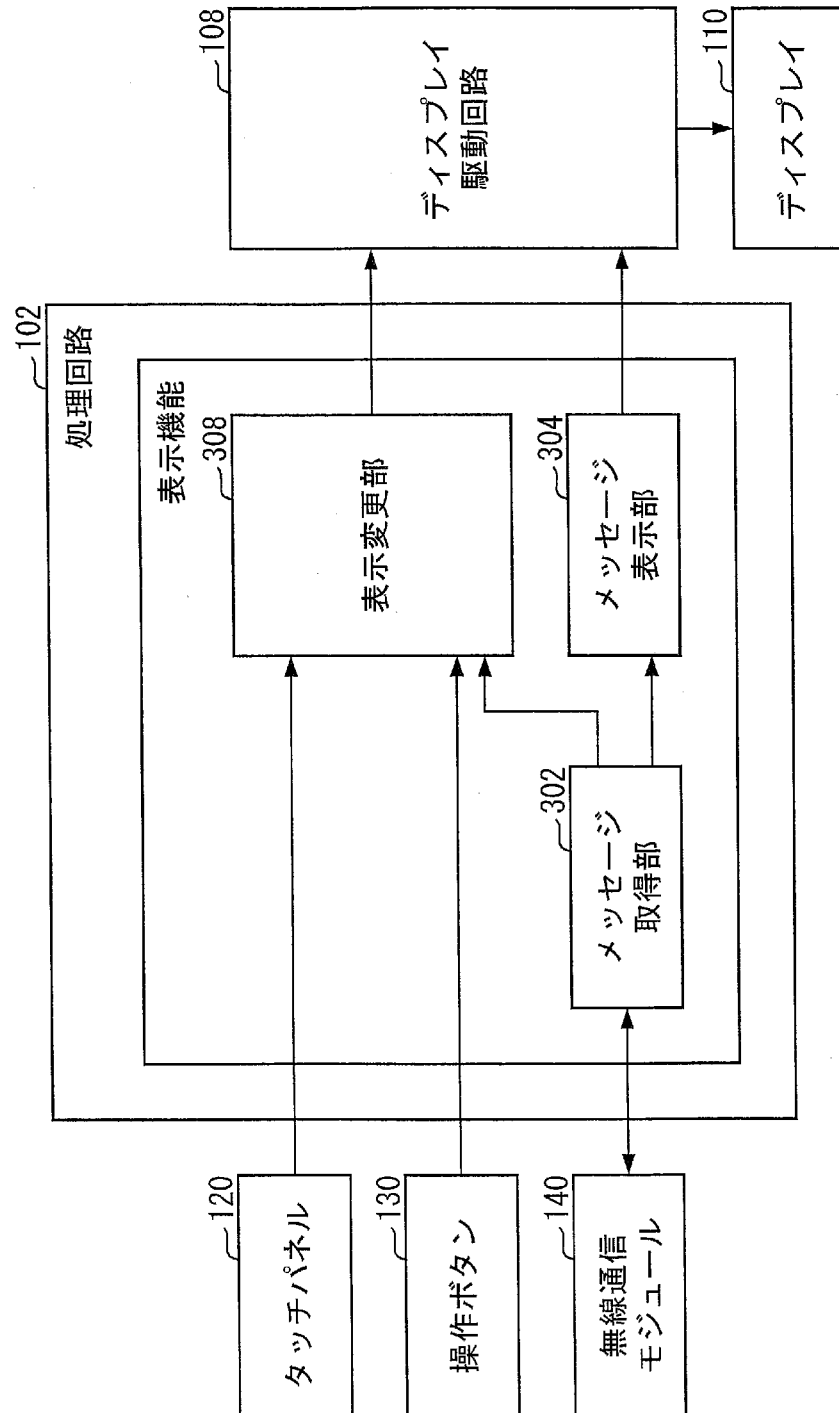
[図1]



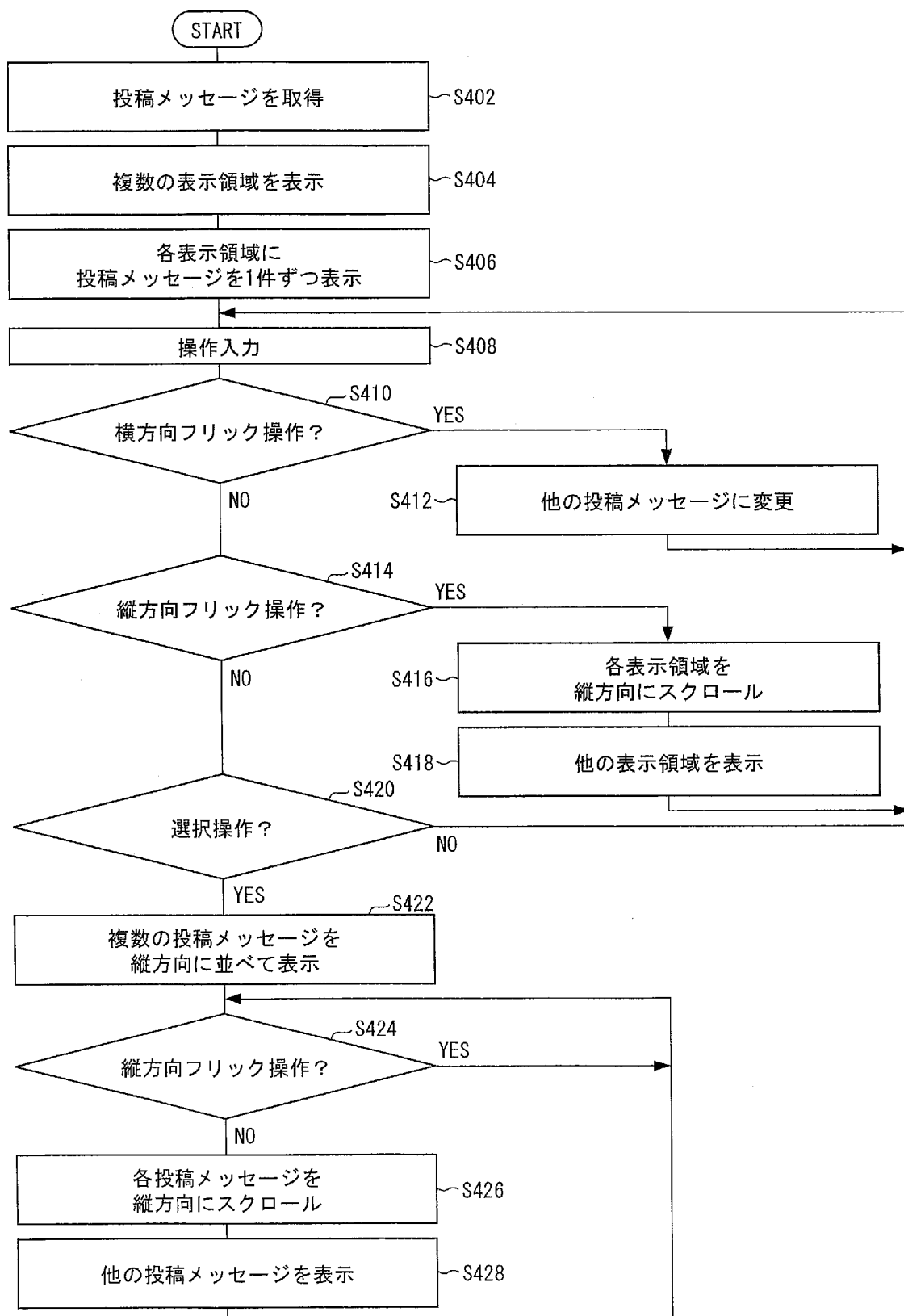
[図2]



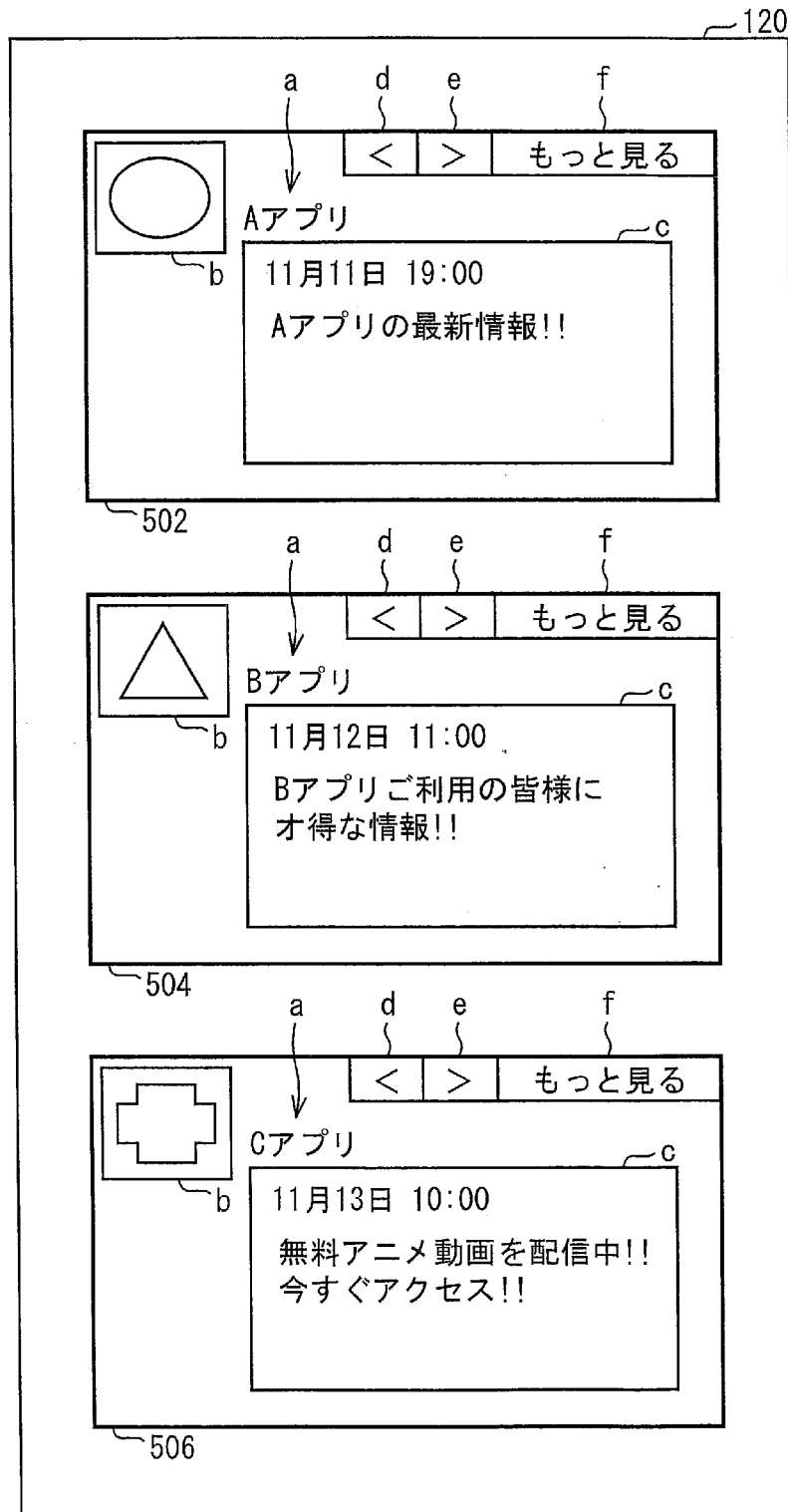
[図3]



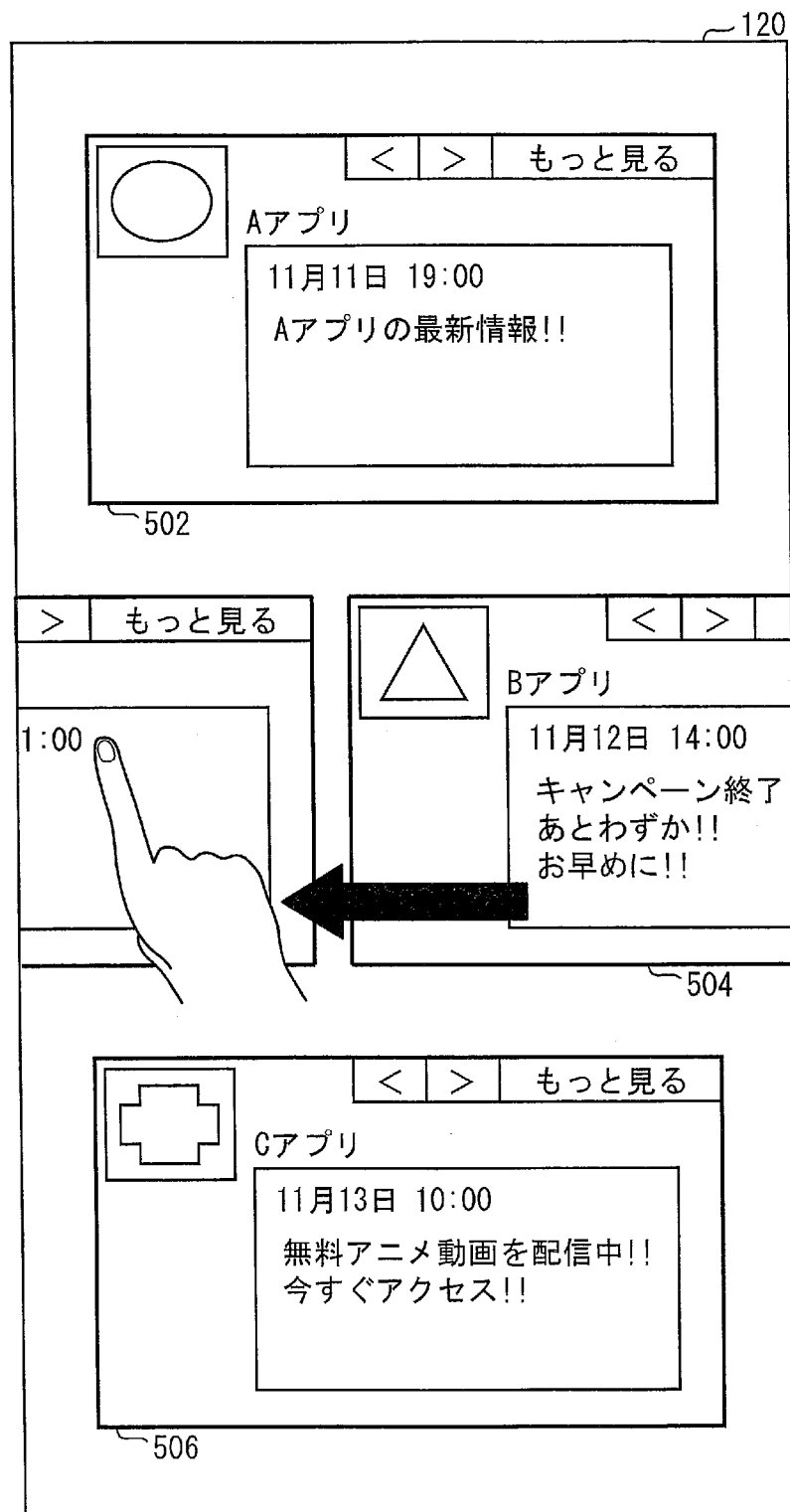
[図4]



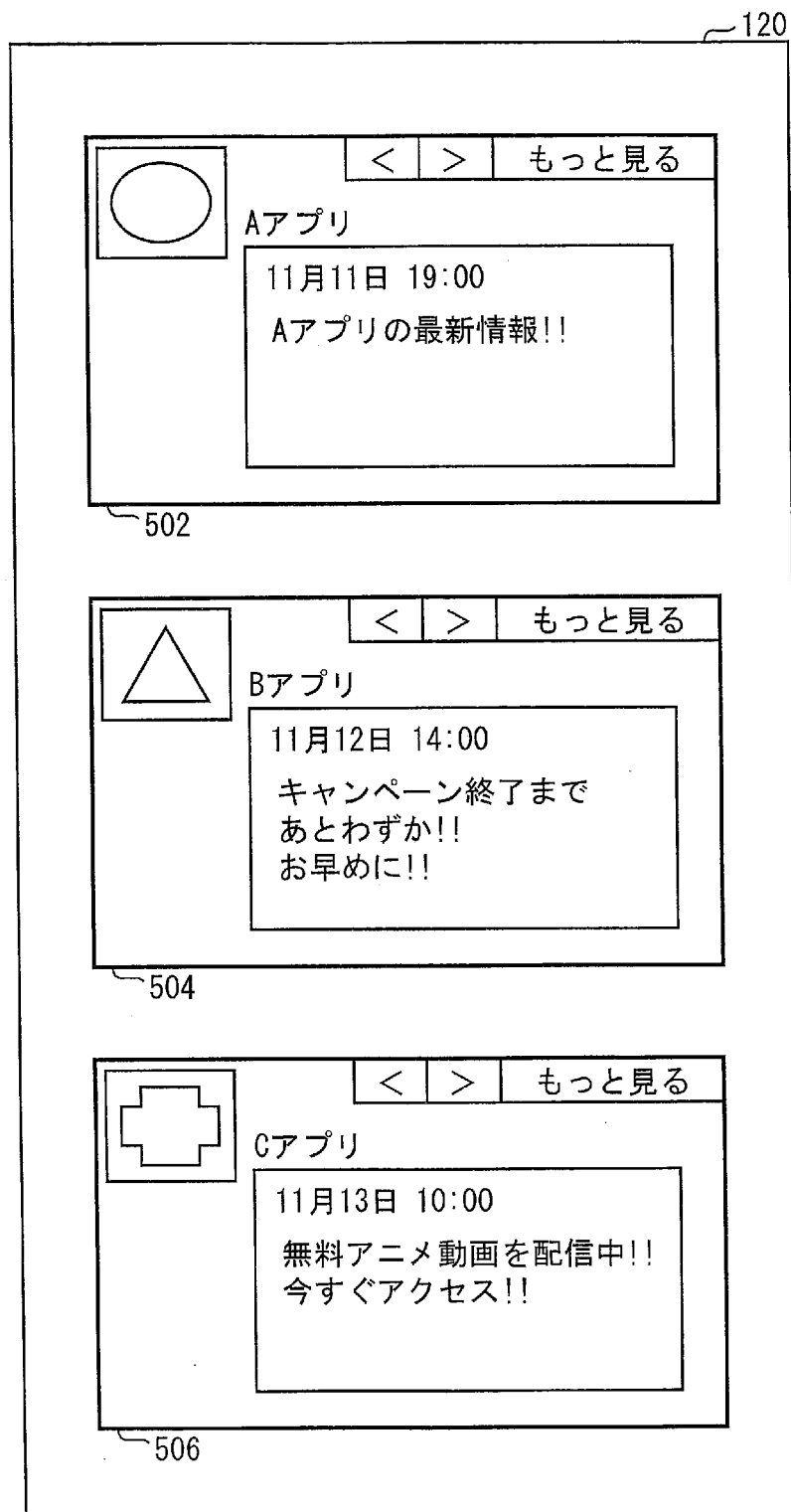
[図5]



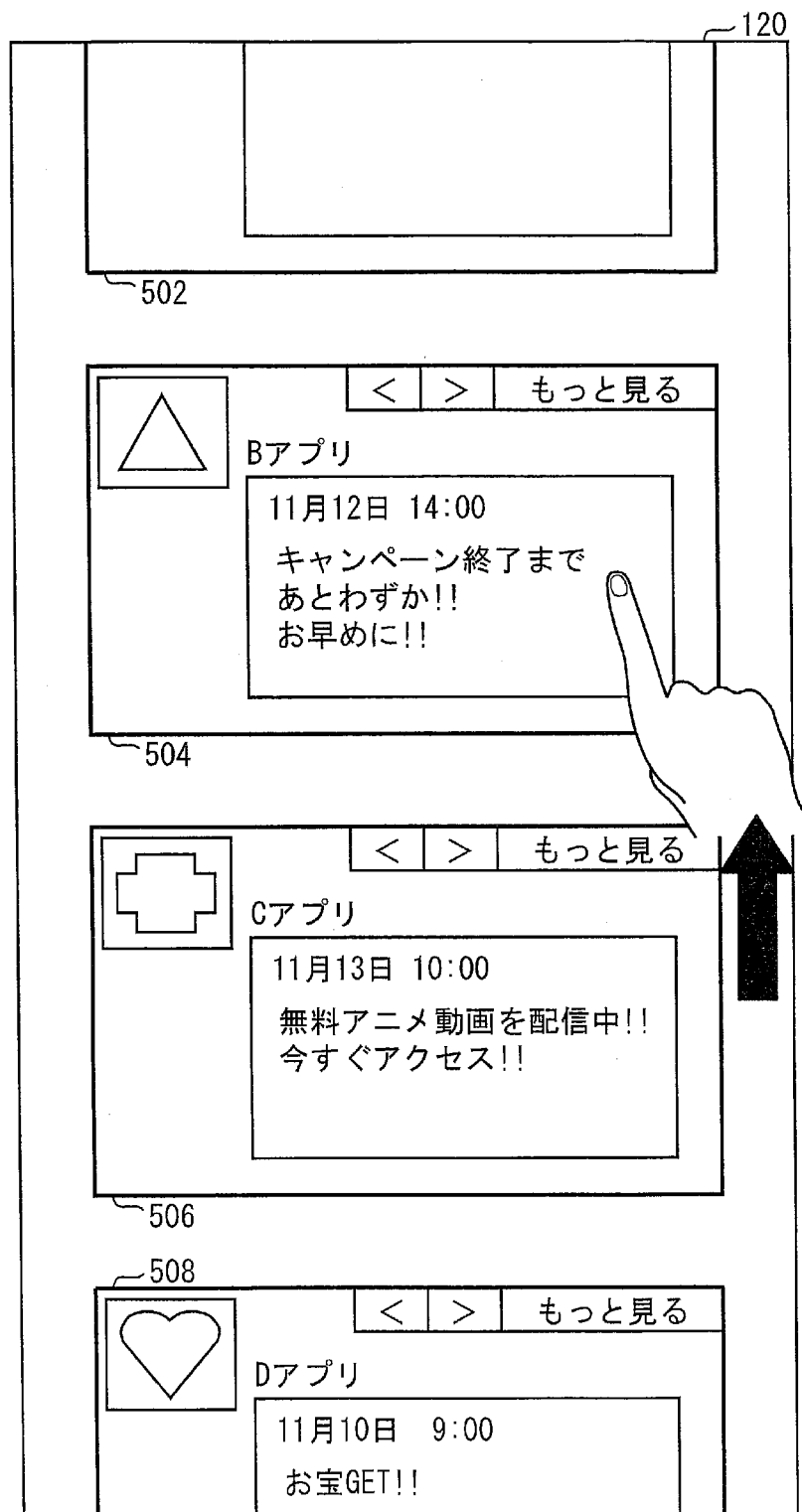
[図6]



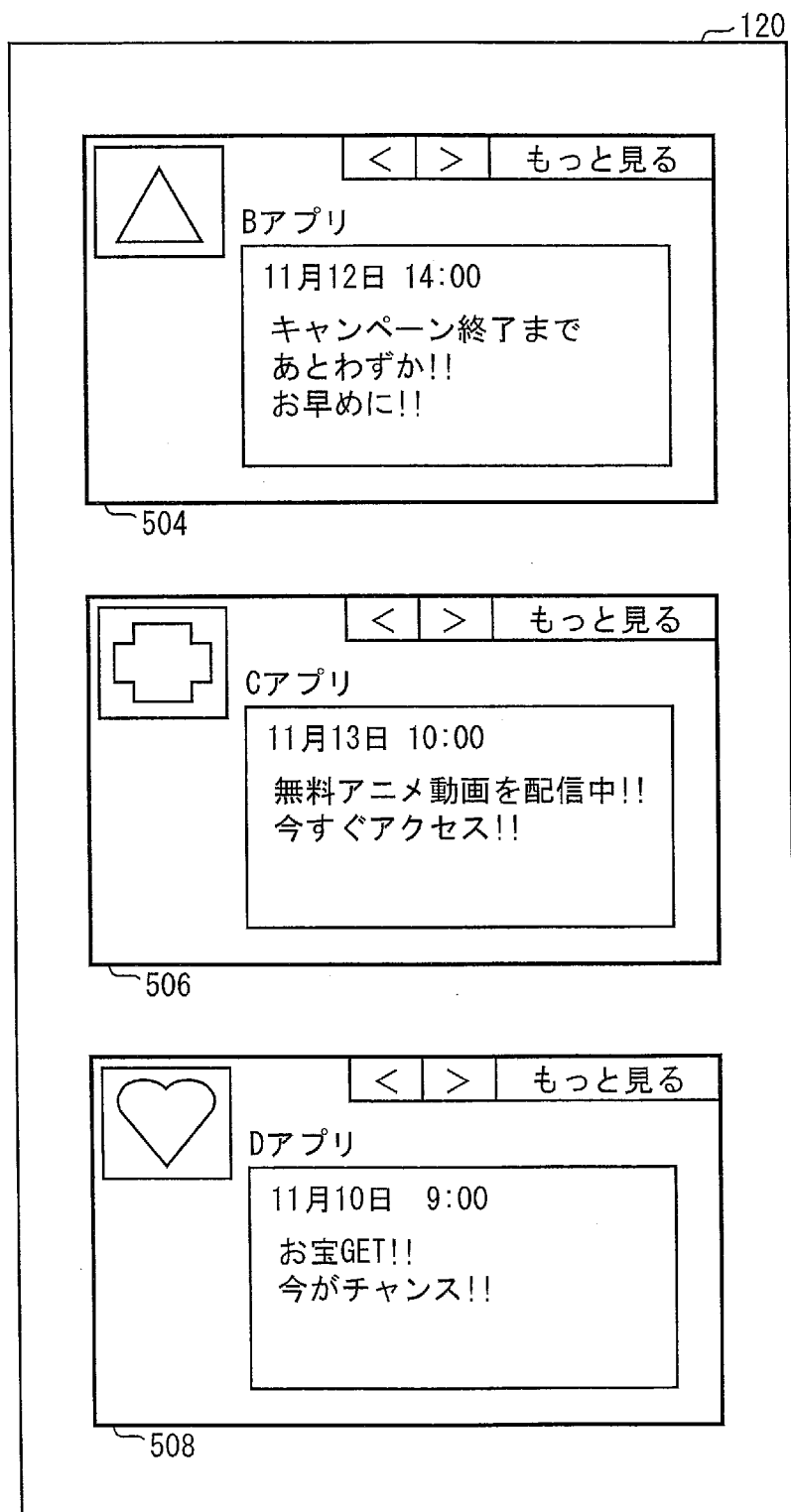
[図7]



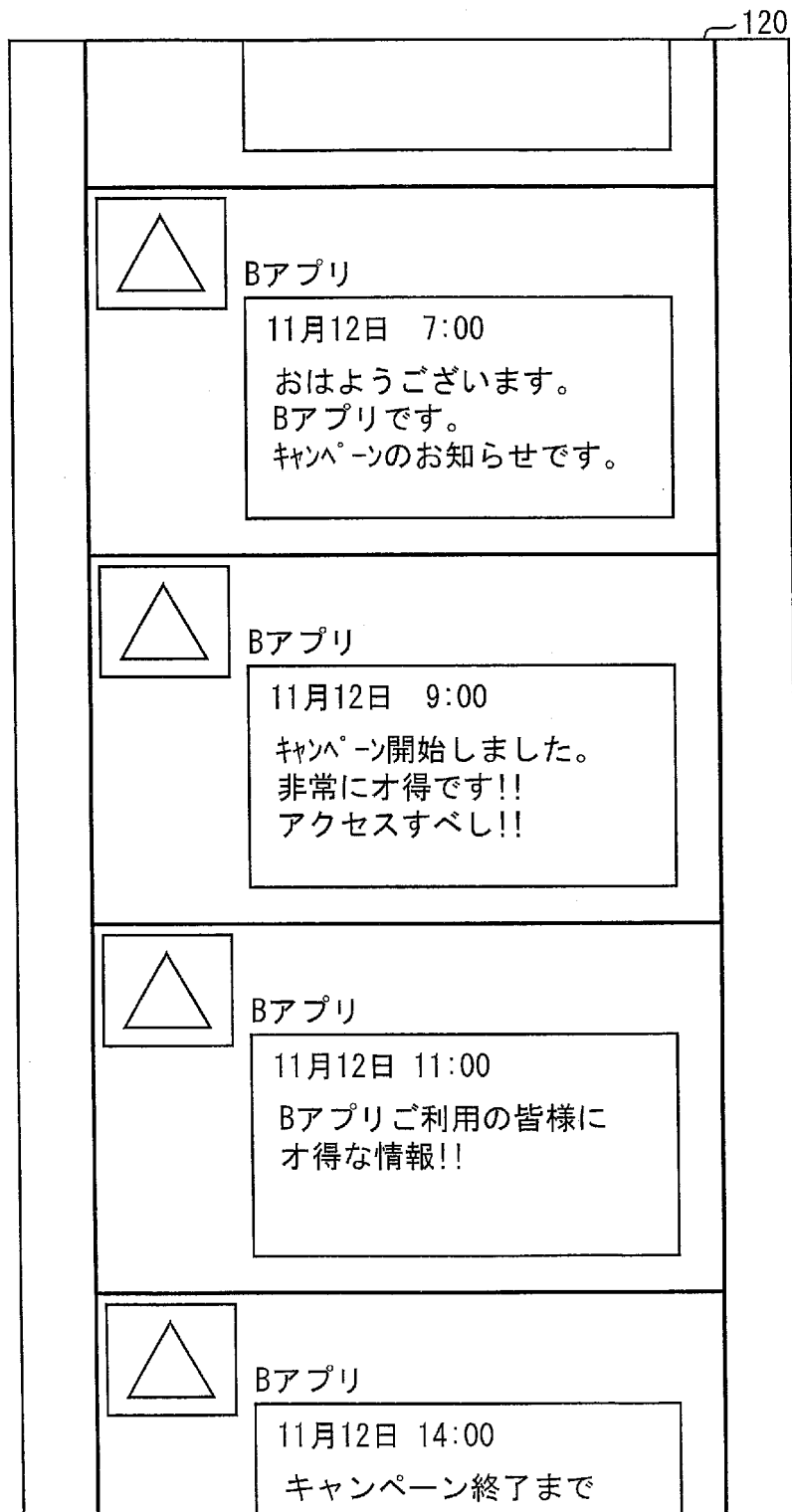
[図8]



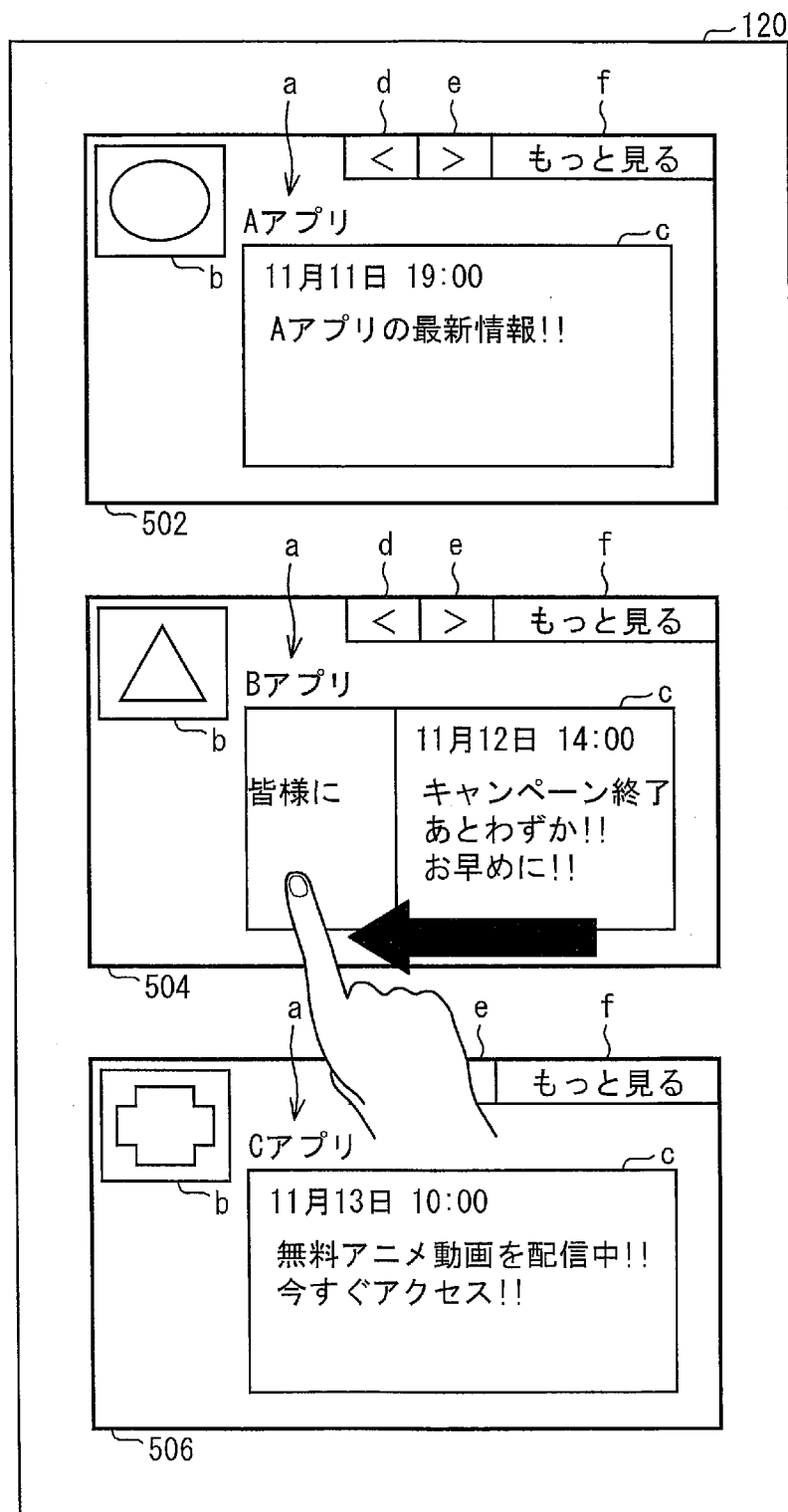
[図9]



[図10]



[図11]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT / JP2 012 / 080742

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

G06F3/048(2013.01)i, G06F1/300(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G06F3/048, G06F1/300

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo	Shinan	Koho	1922-1996	Jitsuyo	Shinan	Toroku	Koho	1996-2013
Kokai	Jitsuyo	Shinan	1971-2013	Toroku	Jitsuyo	Shinan	Koho	1994-2013

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2011-215862 A (Yahoo Japan Corp.), 27 October 2011 (27.10.2011), paragraphs [0002] to [0041]; fig. 5 (Family: none)	1-9
Y	WO 2008/093630 A1 (ACCESS Co., Ltd.), 07 August 2008 (07.08.2008), paragraphs [0115] to [0117]; fig. 12 & US 2010/0118035 A1	1-9
Y	JP 2010-146465 A (Sharp Corp.), 01 July 2010 (01.07.2010), paragraphs [0043] to [0092]; fig. 14 (Family: none)	1-9



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"I" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
12 February, 2013 (12.02.13)Date of mailing of the international search report
19 February, 2013 (19.02.13)Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. G06F3/048 (2013. 01) i , G06F13/00 (2006. 01) i

B. — 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. G06F3/048, G06F13/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)
8 年

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2011-215862 A (ヤフー株式会社) 2011. 10. 27, 段落 【0 0 0 2】 - 【0 0 4 1】 , 図 5 (ファミリーなし)	1-9
Y	W0 2008/093630 A1 (株式会社 A C C E S S) 2008. 08. 07, 段落 【0 1 1 5】 - 【0 1 1 7】 , 図 1 2 & US 2010/0118035 A1	1-9
Y	JP 2010-146465 A (シャープ株式会社) 2010. 07. 01, 段落 【0 0 4 3】 - 【0 0 9 2】 , 図 1 4 (ファミリーなし)	1-9

Γ c 欄の続きにも文献が列挙されている。

□ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

IA 「特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの」
IE 「国際出願 日前の出願または特許であるが、国際出願 日以後に公表されたもの」
I 「優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)」
IΘ 「口頭による開示、使用、展示等に言及する文献」
IP 「国際出願 日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

T 「国際出願 日又は優先 日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの」

X 「特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの」

IY 「特に関連のある文献であって、当該文献と他の 1 以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの」

I& 「同一パテントファミリー文献」

国際調査を完了した日

1 2 . 0 2 . 2 0 1 3

国際調査報告の発送日

1 9 . 0 2 . 2 0 1 3

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (I S A / J P)

郵便番号 1 0 0 — 8 9 1 5

東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号

特許庁審査官 (権限のある職員)

田上 隆一

電話番号 0 3 — 3 5 8 1 — 1 1 0 1 内線 3 5 6 8

5 T

4 1 7 6